

【JHBA認定講師試験】



(実技試験仕上がり見本)

■持ち込み可能材料■

・ウィッグ（美容国家試験対応のカットウィッグ）・クランプ・ダブルピン・水スプレーヤー・タオル2枚・ハサミ・ワックス（グルー不可）・ライター・レザー又はシザー・ストレートアイロン・糸ゴム・ワッフルファイバーエクステーション（未開封品、地毛のカラーと異なるもの）・人毛エクステーション未開封品、地毛のカラーと馴染むもの）・ビニール袋・消毒用ウェットティッシュ（施術前の手指消毒や落とした器具に使用）・定規・タイマー（音消し設定できるもの）

■実技内容■

・ウィッグの全頭を使用（ウィッグは美容国家試験用カットウィッグでカットしていない状態のものを使用）

・センターパートで左右に分け、半頭を【A】、残りの半頭を【B】に仕上げる。

【A】

・ワッフルファイバーを使用し、イヤートウイヤー後ろをネープラインから20センチ以上のブレイズを12本以上装着し焼き止めをする。

・同じくワッフルファイバーを使用しイヤートウイヤー前に4本のコーンロウを作成しエンドを後ろのブレイズに合わせてワンレンに仕上げる。

※表編み不可

【B】

・人毛エクステーションを使用し、イヤートウイヤー後ろにエクステーションを15本以上装着し自然に15センチ以上伸ばす。

・同じく人毛エクステーションを使用しイヤートウイヤー前に4本のコーンロウを作成しエンドをゴム止めする。

※表編み可

■実技規定■

・編み目のヨレがなく、均等な太さで美しい仕上がりである事。

・お客様がトラブルなく、1か月程度装着出来る技術である事。

・ブロックの大きさや編み目が適切な太さである事。

■実技試験制限時間■

120分

■筆記試験内容■

『認定講師として何をつたえていきたいか？』
『どんなブレイダーを育てていきたいか？』
を 200 文字前後の論文にまとめる。

■筆記試験制限時間■

30分



実技試験のポイント

講師として活動するに値する高い技術が基準です。
細部の技術や仕上げ方などの完璧さが問われます。

Copyright © 2021 JAPAN HAIR BRAIDERS ASSOCIATION All Rights Reserved.

◆このテキストは『社団法人日本ヘアブレイダーズ協会』がオリジナルで作成したものです。

他サイトでの開示、コピー、譲渡、転売を固く禁じます。

